

帝人(株) 岩国事業所



【活動のテーマ】

- ①地域への施設開放
- ②各種行事の開催
- ③見学、インターンシップ受入等を実施しています



夏祭りのイベント風景

● 名称・所在地等



名 称	帝人(株) 岩国事業所
所 在 地	山口県岩国市日の出町2-1
設立時期	昭和2年1月
従業員数	1,092人

帝人(株) 岩国事業所

● 活動の目的

帝人グループの基本理念の一つである「社会と共に成長する」を具体化するため、1927年の事業所操業開始以来、90年以上にわたり地元根差した事業所として各種の活動を実施。当時の社名「帝国人造絹糸」に由来する「人絹町」が、今も岩国駅東地区の愛称として定着しています。

現在も地元との相互理解により事業を進化させていくことを目的に積極的に交流を行ない、地域の皆さんとの信頼関係を構築しています。

具体例としては、施設開放、夏祭り・自社製品販売会等の行事の実施と開放、地域（自治会・子供会）や学生の見学・体験入社受入等を行っています。

● 活動の状況

①地域への開放行事の実施

- ・ 夏祭り：8月26日開催
- ・ 自社製品販売会（ファミリーセール）
11月3日、地元地域の祭りに合わせ開催



夏祭りにおける従業員店舗



ファミリーセールにおける
自社製品販売風景



夏祭りのイベント風景



近隣商店による店舗販売風景

②県産品の利用促進

- ・ 岩国地区地産地消
ファミリーセール時に農林水産物、
加工食品を販売
- ・ お中元、お歳暮での県産品カタログ利用



ファミリーセールにおける地産地消品販売風景

③文化、スポーツ振興

- ・ 福利厚生施設の地域開放
体育館、卓球場、ソフトボールグラウンド、テニスコート
- ・ ボランティアリーダー育成
自然観察指導員（セミの抜け殻調査、野鳥の観察）
- ・ 地域スポーツ行事への協賛
岩国市少年サッカー、山口県シニアテニス
- ・ サッカーボールの寄付
全国高校サッカー選手権大会の山口県代表校に対しサッカーボールを贈呈



岩国市少年サッカー大会での
ボール寄贈（自社素材使用）



従業員家族対象のセミの抜け殻
調査で種類分けをしている様子

④学校との協力(インターンシップ受入れ)

- ・ 2月14日～2月16日の3日間、岩国工業高校から計4名を受入
- ・ 8月、9月の各5日間、大島商船・宇部高専から計4名を受入
- ・ 8月22日～9月15日、2月5日～16日の間で約10日間、全国の様々な大学から、計20名を受入

⑤工場見学受入れ

- ・ 6月1日/9月28日、海上自衛隊
岩国航空基地隊員各36名/34名を受入
- ・ 6月13日、岩国工業高校 40名を受入
- ・ 10月23日、岩国YMCA専門学校保健看護学科学生36名を受入
- ・ 12月12日、県庁産業戦略部 6名を受入



工場見学の受入風景。この時は自衛隊の中堅層の見学。

⑥保健・医療・福祉

- ・ 街頭募金の実施：各種福祉施設への寄付
- ・ 「Table For Two(TFT)」活動：食堂でヘルシーメニューを選択すると、一食あたり20円が寄付される。
- ・ 山口被害者支援センターの自動販売機を事業所内に2台設置
- ・ 障害者が製造した「パティームぴっぴ」のクッキーを事業所内で月1回販売
- ・ 事業所内に献血車を受け入れて、年2回献血を実施

PR内容

単に事業所内、地域での行事や取組みに加え、社員が一市民として地元に戻り、地域社会の課題解決、活性化に取り組める人財に成長するよう、各種の取組みを行なっています。

具体的には、山口県自然観察指導員協会と連携した「セミの抜け殻調査」、日本野鳥の会と連携した「野鳥の観察会」、そして全社員が参加する年2回の事業所周辺の「一斉クリーンデー」などにより、ボランティア精神あふれる社員・人財の育成に努めています。



一斉クリーンデーにおいて
郊外清掃



野鳥の観察会では排水用の調整池に渡
来する渡り鳥の観察を行っています。



300種以上が集っています。



郊外すぐに住居があります。